

大東文化大学
英米文学科
オンライン
読書会
高校生に向けた



大学の英米文学科とはなにをどのように学ぶところなのでしょう。わたしたちの学科が主催するオンライン読書会に参加して、それを体験してみませんか？課題図書は参加者に無料でお送りします。オンライン（ZOOM）による開催なので、それぞれのご自宅から参加することができます。学科の教員がゆっくりといねいに、みなさんの意見を聞きながら読書会を進めます。授業ともオープンキャンパスとも違う、リラックスして英米文学科の学びを体験する時間です。

2026年 9月13日（日）15：00～16：30

担当：伊藤 雄二（英米文学科特任教授）



私の専門は英語教育（特に英語授業学）です。中学・高校の教室でどうやって英語を教えたら効果的か、また、どんな英語学習者を育てたらよいか、などを研究しています。担当科目は「教科教育法(英語)基礎 AB・応用 AB」が中心ですが、教育実習で役立つノウハウも扱います。外国語を教えることに興味のある人や中学・高校の英語教員の免許を取りたい人は、“この指と〜〜まれ！！！”

課題図書：

『新版 外国語学習に成功する人、しない人 — 第二言語習得論への招待』
（岩波科学ライブラリー330）白井恭弘、岩波書店、2025

資料：

Reiss, M. (1981). Helping the unsuccessful language learner. *The Modern Language Journal*, Vol. 65, No. 2. Wiley-Blackwell. pp. 121-128
（A4版のプリント2枚です。）



詳細は裏面

参加資格：高校生（学年は問いません）既卒生。当日 ZOOM での参加が可能であること。

申込方法：次のフォームに必要事項を記入し応募してください。

右の二次元バーコードからもアクセスできます。

フォーム：<https://forms.gle/HpKowpV67phMFHbn7>

- ① 氏名 ②メールアドレス ③在学／卒業校名 ④住所
⑤連絡のつく電話番号

申込期日：2026年8月31日（月曜日） 定員：15名

問合せ先：英米文学科事務室

daitoeibei@gmail.com（メール）；03-5399-7362（電話）



課題テキストについて：

申込期日後、郵送します。テキスト代、郵送代などの費用はかかりません。ZOOM 参加に伴う通信費用についてはご負担いただくことになります。課題テキストは、開催日までに自力で読んでみることをおすすめします。*申し込みをされた方は当日かならずご出席をお願いします。

担当者からひとこと：

読書会の進め方を説明します。

1. 課題図書『新版 外国語学習に成功する人、しない人 — 第二言語習得論への招待』に目を通し、印象に残った内容を「2つ」メモしてください。その印象をシェアしましょう。

(例)「4 外国語が身につくとはどういうことか」の『英語で考える』とは(p.68)がとても印象に残りました。理由は、確かに、英語を話す人に相談しに行く前には、自分で言うべきことを考え、心の中で「リハーサル」したことがあるからです。これこそが「英語で考える」第一歩だと知り、なるほどと納得しました。これからも続けたいと思いました。

2. 資料の英文の下線部だけでもよいので目を通してください。Good language learners (GLL：外国語が上手に学べる人)の特徴を考えてください。その際は、次の説明を参考にしてください。

Good language learners (GLL:外国語が上手に学べる人)の研究は、「なぜ同じ授業を受けても、上手になる人とそうでない人がいるのか」を調べるために、1970年代に始まりました。その目的は、上手な人の共通点を見つけて、他の学習者に役立てることです。

この研究に大きく貢献したのが Rubin さんと Carton さんという二人の研究者です。Rubin さんは、上手な学習者は「自分から積極的に練習する」「まちがいを恐れない」「学び方を工夫する」などの特徴があることを示しました。一方、Carton さんは、知らない言葉でも文脈から意味を推測する力が大切だと主張しました。

こうした行動や考え方は学習ストラテジー (learning strategy) と呼ばれます。学習ストラテジーとは、外国語をより上手に学ぶための「コツ」や「工夫」のことです。この研究は、現在の英語学習法にも大きな影響を与えています。

各回とも課題図書は英語で書かれた本ですが、読書会は日本語と簡単な英語を交えて行います。テキストや当日のプログラムの中で、英語や内容に関して分からない点があっても心配しないでください。むしろ当日はできるだけ多く質問を投げかけてくれることを歓迎します。

大東文化大学文学部英米文学科

〒175-8571 東京都板橋区高島平 1-9-1

<https://www.daito.ac.jp/education/literature/department/english/>